



Open the Magical Door

The Future World! —Open the Magical Door—について

みなさんは、おうちで『お手伝い』をしていますか？

昨今、学業や部活動に追われ、家庭でのお手伝いをしない子どもたちが増えています。30~40年前の子供たちは、何らかのお手伝いを当然のごとく行い、自然に人々への思いやりが育てられていた時代がありました。その精神は他人へと向けられ、地域貢献や世界へと目が向けられていく『志』のひとつになっていたに違いありません。

そんな「日本の良き時代」を支えた『お手伝い』の文化を今こそ見直し、現代に置き換えてキャンプテーマとして取り入れてみたいと考えました。今こそ子どもたちに、その志を育むであろう『お手伝い』を見直し実行に至れるような機会にしていきたいと思えます。彼らがキャンプ後にいくらかでも志の一片を持ち帰り成長することを願います。

未来へのカギは、きっと子どもたちひとりひとりの中にある、そんな経験をさせていただきたいと考えています。



さあ、魔法の扉を開けて飛び出そう！！



国際交流キャンプの教育的意義について

塾長 野崎 左武英

のびのびにおけるキャンプの教育的な意義は、学校教育とは全く異なった面を有しています。キャンプ教育に180年以上の歴史を持つアメリカ・カナダといった北米先進諸国では、小学生以上のたいの子供たちが、長期夏休みを利用して、各地で開催される1~2週間程度のサマーキャンプに参加します。学校が知識習得の場であるのに対し、知らない子ども同士が生活を共にするキャンプは『人間力育成の場』であると考えられています。『人間力』とは、**勇気・自立性・社会性・コミュニケーション能力・リーダーシップ**といった『生きる力』のことです。

のびのび国際交流キャンプは、キャンプ教育の先進国アメリカのキャンプをモデルとしてスタートして30年以上。長い歴史の中で数々の改良と改革を重ね、現在では6つの領域での体験教育、①自立と協調性 ②英語体験 ③異文化体験 ④自然体験 ⑤テーマ体験 ⑥リーダーシップ・フォローシップ体験を目的として企画、実施しています。

2018年度ののびのび教育テーマは『**お手伝いのアイデアとその実行力**』です。このテーマを具体的に落とし込んだ内容が、今回のキャンプのストーリーコンセプト『**The Future World —Open the Magical Door—未来を創るのは、君！**』です。世界で活躍でき、人から尊敬される「国際人」に育っていくには、志の精神の育成が特に必要です。お手伝いは最高の志を育む体験教育です。このサマーキャンプでは、各チームそして各部屋別に、自ら進んでやるお手伝いについて考え実行していくことで、志の精神と実行力を鍛錬していただきたいと考えています。この経験を通して、参加したキャンパーたちにお手伝いの大切さを理解していただきたいと考えています。

のびのび国際交流キャンプは、【体験教育の宝庫】を自負しております。今年度も参加される少年少女の心の中に熱い思い出をお届けできるよう、スタッフ一同精一杯の努力を惜しまない所存です。多くの参加者を心よりお待ちしております。

のびのびサマーキャンプの6大体験



のびのび国際交流キャンプでは、こんな体験ができます！

①自立と協調性

親元を離れ、学年を超えたキャンプという社会の中で、子ども達は色々なことを学び大きく成長します。仲間と協力したり、何でも自分でやることを目標とする2泊3日は、毎回心の成長を感じられます。

②英語体験

お友達や外国人・日本人カウンセラーと、生活の中で英語を「使う」3日間。「Hello!」と挨拶したら、ハイタッチ！ 全身で英語を表現します。もちろん、キャンプで使う英語を学ぶなど、わからなくてもOK！

③異文化体験

外国人・日本人カウンセラーと同じ部屋で寝泊まりをします。外国文化を肌で感じ、体験することで、自分が日本人であることや日本文化を再認識し、国際人として羽ばたいていく基礎を築きます。

④自然体験

広大な森の中に飛び出し、大自然の空気を肌で感じながら活動することも、貴重な思い出になります。マイナスイオンをたくさん浴びて、リフレッシュ！ 自然の素晴らしさも感じます。

⑤テーマ体験

2018年度の教育テーマ「お手伝いのアイデアとその実行力」に基づき、いろいろなことに挑戦し、楽しみながら疑似体験することで、発見や達成感を味わいます。アクティビティの中に学びの要素も満載です。

⑥リーダーシップ・フォローシップ体験

キャンプ中は、約15名の学年混合チームで活動します。高学年のリーダー・サブリーダーが中心となり、年少の仲間のケアをし、また、低学年を含む各学年で研修を行い、それぞれの立場でできることを考え、行動します。チーム皆で協力し、お互いに尊重しあえる人間力を養います。リーダーを目標にするキャンパーたちも多くなります。



例年ののびのびサマーキャンプではこんなことをしています

Day 1	Day 2	Day 3
入国審査	スイミングアクティビティ	お掃除と荷物整理
チームオリエンテーション	フォレストアクティビティ	フェアウェルパーティー
オープニングセレモニー	フラッシュモブ	クロージングセレモニー
ナイトアクティビティ	フリーアクティビティ	出国審査
バジャマパーティー	バジャマパーティー	

What can I do for you?

保護者の皆様へ

のびのび国際交流キャンプの目標のひとつに、お子さまの自立があります。大人の手を借りずに何でも自分でやってみることが自立への第一歩です。その為、普段ご家庭でお子さまに対して行われているサポートが必ずしもこのキャンプでも同様に行えるとは限りません。その点をご理解の上、寛大な気持ちで見守って頂ければと思います。

We are friends!



保護者様の声

サマーキャンプでさらに英語が楽しくなり、進んで話せるようになりました。帰ってきたからは自主的に行動することが多くなり、成長を感じました。
旭教室 R.Y.様 小1

キャンプの帰るとすぐに「楽しかった！また行きたい！」とキラキラ話してくれました。不安だったのは親だけで本人はとても楽しんで様子。帰ってきたら英語がたたくん出ます。生きた英語を学べてると思えます。
養蚕教室 Y.H.様 小1

昨年初めて参加した時は、友だちにつられて参加という感じでしたが、今年自分から積極的に参加していました。そして来年も必ず行く！と、おなごくして、自分に自信のない子がいっぱいいるから、成長していきたくて嬉しく思っています。
西野田教室 Y.O.様 小5

積極性に欠ける所があるけど、キャンプの仲間と友達や先輩とから発信するよい機会も増えました。
岩井中央教室 A.W.様 小2

普段できない体験や交流ができて、とても楽しい経験になり、成長できたと思えます。「またぜひ行きたい」と思っています。
小野崎教室 Y.M.様 小3

May I help you?

